

## 投稿の手引き

1. 原稿はワードプロセッサを原則とし、1頁あたり20行、1行あたり25字とし、右側に6cm程度の余白をとり、行間を紙面全体にわたるように充分にあけ、A4版用紙に印字する。手書きの場合は、A4版400字詰原稿用紙を用いる。アブストラクト等の英文はワードプロセッサまたはタイプライタを用い、ダブルスペースで印字する。
2. 原稿には、表題として第1頁に、和文題目、漢字著者名、英文題目、ローマ字(略さずに)著者名をこの順に書き、脚注として所属官署を和文と英文で書く。つづいて、英文アブストラクト、同和訳、和文本文、文献、図・表・写真の説明、同和訳をこの順に項目毎に用紙を別にして記す。ただし、報文、雑報は英文の所属官署とアブストラクトは省き、図表等の説明は和文のみでよい。文献はそれがないとき省くことができる。
3. 英文アブストラクトは、目的、仮定、方法、結論等を明確に書き、本文の数式、図等は引用しない。
4. 本文
  - 4.1 節の切れ目は1行あける。
  - 4.2 節の見出しはゴシックとし、各節の本文は新しい行から1文字あけて書き始める。文の切れ目で行を変えるときも1文字あける。
  - 4.3 句読点には、。(ピリオド)、,(コンマ)を使用し、、は用いない。
  - 4.4 人名、地名の読みにくいものには振り仮名を付ける。
  - 4.5 まぎれやすいアラビア数字、ギリシャ文字、ローマ文字、ベクトル記号等には、片仮名でフリガナ(朱書)を付け、大文字、小文字の別を示す。添え字は判別できるようにはっきり書くか、校正記号(朱書)を付ける。
  - 4.6 数式、特に本文中の数式はなるべく行間が1行以上にならないようにする。
  - 4.7 単位は原則として国際単位系(SI)を使用する。
  - 4.8 暦年は原則として西暦を用いる。また、人名の敬称は原則として省略する。
5. 図・表・写真
  - 5.1 図等の表題・説明は、論文の場合は原則として英文で、その他の場合は和文で書く。図等に直接書かずに別紙に番号順にまとめて列記する。英文の場合は和訳を添付する。図表中の文字、記号はもれなく説明する。また、必要な単位は必ず付ける。
  - 5.2 図等の挿入箇所を本文の右スペースに朱書する。
  - 5.3 図等には、第1図、Fig.1、表1、Table 1のように通し番号を付け、隅に著者名を記しておく。
  - 5.4 製版後は図の修正は不可能なので注意すること。刷上がり寸法または縮率を記入する。ただし、縮率は編集の都合により変えることがある。
6. 参考文献  
参考文献は、本文の末尾に原則として次の形式に従って列記する。並べる順序は和文を先にして50音順、続いて欧文をアルファベット順に並べる。  
雑誌 著者名(西暦年)：表題、雑誌名、巻数、号数(原則として省略)、ページページ。  
単行本 著者名(西暦年)：書名、第何版、発行所、総ページ数(または引用ページ)。  
(例)  
安藤邦彦(1992)：表面現象から見た近年の伊豆大島の火山活動の期間とその特徴、*験震時報*、**55**, 139-156。  
宇津徳治(1985)：*地震学*、第2版、共立出版、310pp。  
HULL, A. G. and C. NICHOLSON(1992)：Seismotectonics of the Northern Elsinore Fault Zone, Southern California, *Bull. Seism. Soc. Am.*, **82**, 800-818.

平成12年3月31日発行

編集兼発行人

気 象 庁

東京都千代田区大手町1丁目3-4

印刷所

株式会社 双 文 社

東京都文京区後楽2-20-8

# Quarterly Journal of Seismology

Vol. 63 Nos. 3 ~ 4

2000

## Contents

### PAPER

- Practice of Probabilistic Forecasting of Aftershock Activity  
..... Toshimitsu TSUKAKOSHI, Kohji HOSONO, Akihiko WAKAYAMA,  
..... Kazumitsu YOSHIKAWA, Hidemi ITO, Akio YOSHIDA 49

### REPORTS

- JMA Seismic Intensity DataBase and Several Operational Examples  
..... Yuzo ISHIGAKI and Akimichi TAKAGI 75
- Photographs of Seismographs used for Seismological Observation  
by the Japan Meteorological Agency  
..... Nobuo HAMADA 93

Published

by

The Japan Meteorological Agency

c/o Seismological and Volcanological Department, JMA

1-3-4 Ote-machi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8122, JAPAN